

『豊かで幸せな生活』

練馬区立開進第三中学校 第3学年 清水 満央

「税金ってなんだろう？」と考えた時、私は税金とは「皆が平等に最低限の幸せな暮らしをしていくためのもの」ではないかと思いました。

私達が毎日、当たり前のように過ごしている周りには、たくさん、税金によって作られたり、まかなわれたりしているものがあります。

例えば水です。手を洗ったり、料理をしたり、洗濯をしたり…。蛇口をひねれば水は出てきます。当たり前のようにだけれど、これは税金によって作られたダムや、ダムから家庭をつなぐ水道管があるからです。私は一度、家の水道管工事で水が使えなかった時、とても困った経験があります。手を洗えなかったりするのもそうですが、トイレやお風呂に中々入れないのがとても大変でした。たった数時間水が使えないだけでしたが、水のありがたみをとっても感じました。

また、私達中学生の学校生活は大部分が税金によってまかなわれています。だから、どんなにお金が無くても、もしくはあっても、公立の学校であれば、皆が平等に学ぶことができます。貧しい国では、小さい頃から働かなくてはならないため、学校に行けない子供達もいます。小学校、中学校に通えて教育を受けることができる日本はとても恵まれていると思います。

体の調子が悪かったり、けがをしてしまったりしたら病院へ行きます。病院に行つて、処置や検査をしてかかるお金の一部も税金から出されています。もし、税金が一部を負担しなければ、何倍もの料金を自己負担しなければならなくなってしまう場合もあります。

「お金がかかるから：」、なんて病院に行かない人も増えてしまい、治せる病気で命を落としてしまう人も出てくるかもしれません。私達が健康に、安心して暮らしていくためには税金は欠かせないものなのです。

来年、二〇一九年十月に消費税が十パーセントに引き上げられます。税金には様々な種類がありますが、消費税はなかでも私達に大きな関わりを持っている税だと思えます。もしかしたら、消費税が上がるのは嫌だと思う人もいるかもしれません。でも、考えてみると、私達は税金がなければ、今のような豊かで安心・安全な暮らしはできません。また、このような恵まれた環境の日本でも、様々な問題を抱えており、少子高齢化や待機児童、様々な問題は日々増えていきます。解決するためには必ずお金も必要です。税金が高くなるのは必ずしも私達にとってマイナスなことなのでしょうか。さらに豊かに幸せな暮らしを送っていくには税金の存在は不可欠だと私は思います。税金を払うのは、少し損をした気持ちになるけれど、ちりも積もれば山となり、大きなものとなって私達に還元されていくのだということ、今一度多くの人が理解することが大切だと思います。